

信州善光寺には、全国各地から毎年数百万人が参拝に訪れています。加えて、2022年春には数えて7年に一度の前立本尊御開帳が予定されています。参拝者の安全性の向上に配慮するとともに、国宝である本堂の文化財としての更なる活用を目的に照明改修を行いました。

古くから「一生に一度は善光寺詣り」と言われ、年間約600万人が訪れる長野の信州善光寺。本堂は撞木(しゅもく)造と呼ばれる独特の屋根形式を持つ江戸中期を代表する仏教建築で1953年に国宝に指定されています。木造文化財としては東日本最大の建造物で総檜皮葺の屋根は日本一の大きさを誇ります。山門、経蔵は国の重要文化財に指定されています。



【物件概要】  
所在地：長野県長野市長野元善町491  
建築面積：1,282㎡(本堂)(間口：23.89m 奥行：53.67m)  
構造：撞木造、総檜皮葺  
施主：信州善光寺事務局  
施工：電気/㈱大光電気商会  
完成：2020年3月



内陣から内々陣を望む 吊灯籠をはじめ、内々陣の照明もLED化。左側はハロゲン電球形LEDスポットライト①のライトアップで迫力を増した弥勒菩薩像。

### 善光寺の歴史との調和と安全性に配慮した照明器具。

信州善光寺の本堂は、国内有数の大きさを誇る木造建築物で正面入口から順に外陣、内陣、内々陣という構成となっています。近年、本堂では通常の行事の他に音楽イベント等が増え、訪れた人々に本堂内の魅力を伝えると同時に更なる安全の向上が課題となっていました。そこで全エリアを対象として、長年培ってきた厳かな雰囲気と馴染む形で照明をLEDに改修することになりました。

改修によってもっとも目を引くのは内陣の左右に安置された地藏菩薩像と弥勒菩薩像のライトアップです。周囲と違和感なく馴染む形状の専用スタンドを作製して器具台数を追加し、菩薩像の迫力のある光景と豊

かな表情を浮かび上がらせています。

内陣回廊部は、既設の歴史あるデザインを継承したブラケット器具を作製しました。セードは和紙風樹脂仕様とし、器具上部はトラッキング防止のために蓋を追加しましたが、光が透過する設計で既設の雰囲気そのままです。

内陣は行事等で多くの参拝者の出入りがあり、安全性の配慮が重要な場所です。転倒等の暗所トラブルの発生を未然に防ぐため、LEDライン器具を組み込んだ足元灯を設置しました。床付近に明るさを足し、空間にメリハリをつける照明器具となっています。



上部は蓋付きでも上方光束を確保できる構造で、既設器具と遜色のない柱付きブラケット器具②



外陣から内陣を望む 弥勒菩薩像と地藏菩薩像の存在感がライトアップで遠くからでも際立つ。



(左) 弥勒菩薩像 / (右) 地藏菩薩像 菩薩像全体を美しく浮かび上がらせるハロゲン電球形LEDスポットライトと専用スタンド①によるライトアップ。



内陣と外陣の境界付近 法要やイベントなどが行われる内陣沿いに参拝者の安全に配慮してライン器具を組み込んだ足元灯③を新たに設置。下方向の明かりで安全性と落ち着いた雰囲気と両立させる。



内陣回廊部 伝統柄と和紙風樹脂セードを採用したブラケット②で改修前の雰囲気を継承。 びんずる尊者像 入口正面に座すびんずる尊者像用スポットライト④

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品名)	形名	台数	備考
屋内(内陣)	① LED電球形ハロゲン電球形スポットライト	LEDC-41111F(K) + LDR6L-W-E11/D2	12	消費電力：6.4W
	ライトアップスタンド(特注品)	LEDX41111SLK-40760およびLEDX41111SLK-40761	各2	
	② 柱付けブラケット(特注品)	LEDX09310BKK-40763 + LEDL-09302L-LS1	10	消費電力：5.2W
屋内(外陣)	③ 足元ライン器具(特注品)	LEDX09310BKK-40763 + LEDL-09302L-LS1	5	消費電力：13.0W
	④ LED電球形スポットライト	LEDX03304BKK-40764 + LEDL-03302L-LS1	1	消費電力：4.4W
屋内(外陣)	④ LED電球形スポットライト	LEDC-42001F(W)KAI + LDR12L-W/150W	8	消費電力：11.7W